

| 項目      | 内 容                                                                                                                                  |                                                                                                             | 備 考 |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 学級指導目標  | 目標に向かって継続して努力できるクラス<br>・集団の規範があること<br>・自分ができることを主体的に頑張れること<br>居心地の良いクラス<br>・一人一人の居場所（役割り）があること<br>・自己開示できる集団であること<br>・仲間はずれやいじめがないこと |                                                                                                             |     |
| 学級観     | ・進路選択について真剣に取り組もうとしている生徒が多い。<br>・新クラススタートから仲がよく、笑いが絶えない。<br>・時間や服装、提出物など基本的な習慣が身に付いていない生徒が一部見られる。                                    |                                                                                                             |     |
| 学級指導の重点 | 学 習                                                                                                                                  | ・朝読書の定着、徹底。<br>・学級委員や生活委員を中心に声かけを行い、授業に集中できるための環境づくりを主体的に行わせる。<br>・定期考査前には学習計画表を用いて計画的に学習を行う力を身に付けさせる。      |     |
|         | 生 活                                                                                                                                  | ・朝の登校や提出物の期限遵守、チャイム着席など、時間に対する意識を高め、徹底させる。<br>・休み時間は教員が巡回する環境を意図的に作り、生徒が安心して学校生活を送ることができる環境をつくる。            |     |
|         | 道 徳                                                                                                                                  | ・道徳では、話し合い議論する道徳を推進していく。また、その過程では他者の意見を取り入れ「なるほど」「なぜ」と考えさせることで、物事を多角的・多面的に捉えさせる。                            |     |
|         | 特別活動                                                                                                                                 | ・RIKUTAIや合唱コンクールなどの行事では最上級生として生徒主体で運営・参加する意識を高め、物事を成し遂げる達成感を身に付けさせる。<br>・修学旅行では、時間や決まりを徹底させることで集団としての力を高める。 |     |
|         | 進路・その他                                                                                                                               | ・配慮が必要と感じた生徒の保護者には特に連絡を密にとり、連携して対応していく。<br>・学年教員や養護教諭、SCと連携をとって、個に応じた指導を展開していく。また、不登校生徒との連絡をこまめにとっていく。      |     |